



竣工から37年が経過している市総合体育館（プリニーの総合体育館）は、施設の老朽化のほか、空調設備のないメインアリーナ・観客席など、さまざまな課題を抱えています。これらの課題を解決する新しい総合体育館の整備に向け、「各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会」を開催し、調査・審議を行っています。このかわら版では、委員会の会議内容について紹介します。



■第2回 各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会の開催概要

令和2年9月25日（金曜日）午前9時から第2回各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会を産業文化センターで開催しました。

各務原市の総合体育施設の現状・課題からみる新総合体育館整備における課題や新総合体育館整備の候補エリアなどについて説明し、委員より意見を伺いました。



●現状把握と課題整理

市の計画における総合体育館整備に関する位置づけや現総合体育館等の実態から、新総合体育館整備に向け、以下が主な課題として挙げられます。

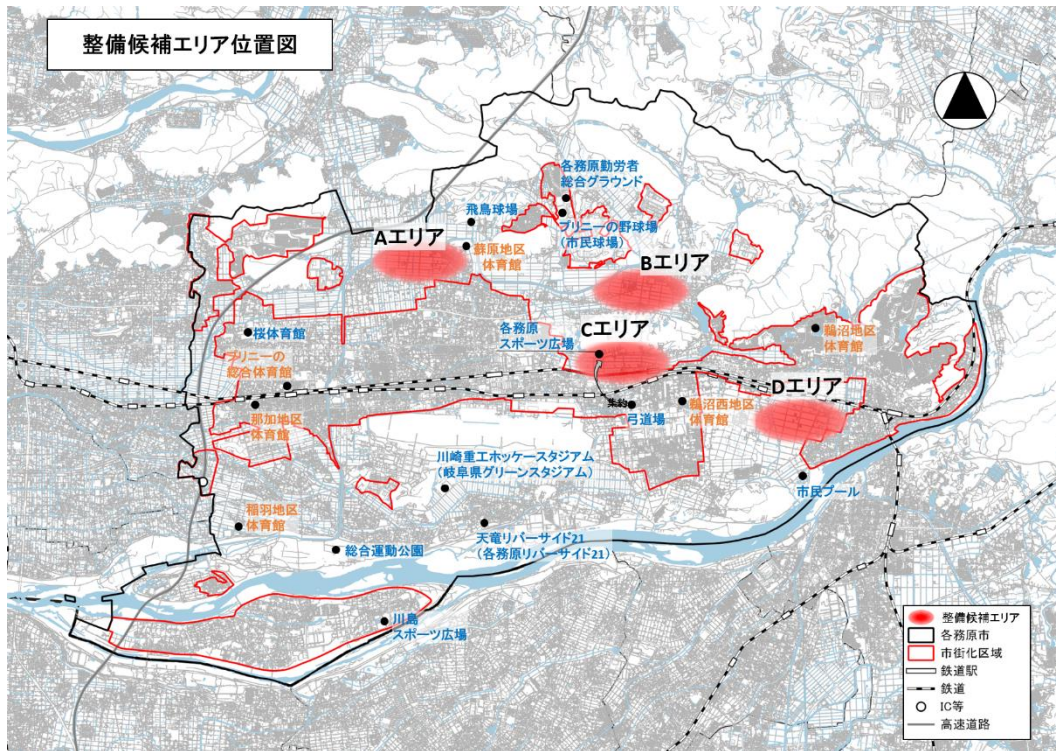
- ①空調の整備
- ②十分な駐車場の整備
- ③防災機能やイベント開催への対応等の、スポーツ施設以外の機能の充実（機会の創出）
- ④交通利便性の高い建設地選定
- ⑤防災拠点として安全で他の防災施設との連携の図りやすい建設地選定

●候補エリアについて

土地利用状況、交通利便性、災害からの安全性などを条件に、十分な広さの土地を確保できるエリアを候補エリアとして4つ（A～D）抽出しました。今後は、選定指標を設定し、エリアを絞り込んでいきます。

会議後には、この4つのエリアを視察しました。候補エリアの土地利用状況や周辺の施設の立地状況、市街地との近接性等について確認しました。

整備候補エリア位置図



候補エリアに関する主な意見

- 市中心部に近く、JRや名鉄が近いなど交通の便が良い場所が適当である。
- 周辺地域と複合的に発展できる場所が良い。
- 学生や高齢者が自力で行けるかどうかの観点が重要である。
- 災害対応として安心してその場に行けることが求められる。
- 経済効果の観点から、近隣商業施設の有無も評価に反映するべき。
- 用地取得に伴う補償費用も評価するべき。

■お問い合わせ先

各務原市役所
教育委員会事務局 教育施設整備推進室
TEL：058-383-7302（直通）
FAX：058-389-0218
E-mail：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp



委員会の様子やかわら版のバックナンバーについては、市ウェブサイト（左記QRコード）で掲載しています。また、委員会は公開していますので、傍聴を希望される方は会議の開始10分前までにお越しください。（※傍聴希望者が10名を超える場合は抽選）

